



横浜市立一本松小学校

9月号

学校だより

横浜市立一本松小学校

校長 高桑 透

令和6年8月27日



『夏休みの思い出』

校長 高桑 透

今年の夏休みは、本当に暑い夏になりました。熱中症警戒アラートが毎日のように発令され、一歩外に出るとアスファルトからの照り返しですぐに汗が出てくるような日々でした。今年の夏は、猛暑だった去年以上に暑くなると早い段階から報道されていましたが、正に酷暑の夏となりました。

そんな中でも、遠く離れたパリではオリンピックが行われ、夕方から深夜にかけてのテレビ中継を見ながら、日本代表の選手はもちろん、様々な国や地域の代表選手の素晴らしいパフォーマンスに目を奪われ、つつい大きな声で応援してしまう日々を過ごしました。さらに8月29日からはパラリンピックも始まります。日頃あまり見ることのできない競技もたくさんあるので、楽しみながら応援しようと思います。

一本松小学校に赴任して4年目の夏になりますが、コロナ禍で中止になっていた地域行事が再開され、いろいろな地域の夏祭りに短い時間ですが参加させていただきました。また、それぞれのお祭りではたくさんの子もたちの姿を見ることができました。おいしそうに焼きそばや焼き鳥を食べていたり、くじで当てたおもちゃを見せてくれたり、綿菓子の売り子として大きな声で呼び込みをしたり、どの子も笑顔で本当に楽しそうでした。今の時代、地域のお祭りが無くなったり、規模を縮小したりしているところが多いなかで、本校の学区では、人と人がつながる行事を大切に、継続していることは本当に素晴らしいことだと改めて実感しました。

地域のお祭りは、子どもの頃に夏休みの思い出として、多くの方の心に残っているものだと思います。また、成長してからは、地元の友人との再会の機会となります。この夏もある夏祭り会場で数年前の卒業生たちとの出会いがありました。私自身はその子たちのことは知らないのですが、一本松小の思い出話も聞かせてくれました。大人も子どもも含めて、地域の人たちを繋いでいる素敵なお祭りをこれからも残してもらえたら、子どもたちは幸せだなと思います。そして一本松小を卒業した子どもたちが、将来地域の一員として、夏祭りの運営に関わり、次の時代の子もたちのために力を尽くせるようになることが実現したら、本当に素敵なことだと思います。

学校は再開しました。子どもたちの元気な声が戻ってきましたが、暑い夏はまだまだ終わらないようです。水分補給をしっかりとすることはもちろん、十分な睡眠と栄養をとることで、元気に学校生活を送ることができるように気を付けていきます。ご家庭でも、引き続き子どもたちの健康管理をお願いいたします。